

高山の生態系

白山は、日本最西端の高山帯を持つ山です。そこに生息する丈夫な植物や動物は、乏しい資源、短い生育期間、厳しい風に適応していますが、高山の生態系自体は脆弱です。白山の山頂の植物や動物は、自分たちを支えてくれる狭い地域から出られない、島に取り残された生存者のようなものです。特に気候変動は大きな脅威となっており、温暖化が進むことで、これらの種に適さない環境になり、生息地を失う可能性があります。

高山の動物たち

白山の高山帯には、半年間雪に覆われるにもかかわらず、多くの動物が住んでいます。地上に巣を作るイワヒバリやカヤクグリなどの鳥たちは、山頂近くの火山岩の間で餌を探し、子育てをします。夏には、高山植物の花畑に、茶色の羽にオレンジ色の斑点が特徴のクモマベニヒカゲやベニヒカゲのような蝶々が集まります。また、哺乳類もこの高さで生活しています。オコジョは、夏は茶色ですが、冬は真っ白になり、岩の間でアズミトガリネズミなどの小さな齧歯類を狩ります。